

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	自然の家事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	青少年室	事業名	自然の家管理事業			
事業概要							
自然の家管理(指定管理者施設管理)							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
豊かな自然環境を生かし、青少年の自然体験学習を始めとする市民の生涯学習のための施設として、また市民が日常から離れて余暇を過ごす場として、青少年の健やかな成長に資するとともに、全ての世代の心身の健康の増進に寄与できるよう、自然の家の維持管理を行った。 昨年度と比較して、主に大阪・関西万博の開催に伴い、貸切バスの確保が困難であったことや料金が高騰したことで利用を見送る団体が増加したことにより、利用者数19,651人（昨年度と比べて、4,828人減）となった。 （1）延べ利用者数 令和5年度：19,951人、令和6年度：24,479人、 令和7年度：19,651人 （2）利用団体数 令和5年度：664団体、令和6年度：677団体、 令和7年度：614団体 （3）主な施設管理 大規模改修工事設計業務委託料：11,825千円			決算額 (千円)	73,949	72,522	90,241	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	92.8	89.7	81.5	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			公共施設（一般建築物）個別施設計画に 基づき、令和8～9年度に実施する大規 模修繕工事は、できる限り利用者への影 響を少なくするとともに、必要最低限の 休館になるように努める。				継続
			自然の家周辺で熊の出没情報が寄せら れていることから、利用者に、より安 全・安心に施設を利用してもらえるよ う、熊の敷地内への侵入を検知し、知ら せるなど仕組みの導入が必要である。 建築後45年以上経過しており、大規模 修繕により施設の長寿命化を図るが、今 後の建替え等コスト増大が見込まれる。				
			①令和8年度～令和9 年度に公共施設（一般建 築物）個別施設計画に基 づき、大規模修繕工事 を実施する。 ②熊の出没による利用 者への被害防止の更な る取組を実施する。				

	所管 室課		事業名		
事業概要					
活動実績	年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
	決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
	一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
	事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
				今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	自然体験交流センター事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	青少年室	事業名	自然体験交流センター管理事業		
事業概要						
自然体験交流センター管理（指定管理者施設管理）						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
青少年に集団での生活を通じて自然と共生し、あらゆる生物の命の尊さを体感する場を提供するとともに、市民に自然を生かした生涯学習及び交流の場を提供できるよう、自然体験交流センターの維持管理を行った。 昨年度と比較して、主に大阪・関西万博の開催に伴い、貸切バスの確保が困難であったことや料金が高騰したことで自然の家の利用を見送った団体が、公共交通機関を利用して自然体験交流センターを利用したことにより、利用者数756人増えて42,661人となった。 （1）延べ利用者数 令和5年度：39,359人、令和6年度：41,905人、 令和7年度：42,661人 （2）利用団体数 令和5年度：734団体、令和6年度：670団体、 令和7年度：750団体 （3）令和7年度主な修繕実績 本館棟ガスヒートポンプ式エアコン修繕：727千円 浴槽ろ過装置5方弁修繕：363千円		決算額 (千円)	96,152	97,753	89,759	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	92.2	91.7	89.6	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		計画的に維持補修することで施設の魅力を更に向上させる。 また、大雨などによる倒木の危険性がある樹木を調査、伐採する必要がある。			拡充 施設の老朽化等に対応するため、必要な修繕などを行う。また、危険樹木の選定調査及び伐採を行う。	

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	青少年クリエイティブセンター事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター管理事業			
事業概要							
青少年クリエイティブセンター管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、青少年クリエイティブセンターを管理し、施設を良好な状態に維持した。 施設利用者数 (1)青少年会館 令和5年度 13,592人 令和6年度 15,163人 令和7年度 14,875人 (2)体育館 令和5年度 18,199人 令和6年度 18,829人 令和7年度 17,003人 (3)運動広場 令和5年度 13,083人 令和6年度 17,472人 令和7年度 15,051人 令和元年度からの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により一時期減少していた利用者数は、徐々に回復しつつある。しかし、コロナ禍前の水準（平成29年度：全施設合計で約6.4万人）までは戻りきっていない。			決算額 (千円)	39,789	43,427	77,232	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.8	99.8	76.6	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			昭和56年（1981年）に建設されてから約45年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、年々建物修繕箇所が増加している。施設の老朽化に加え、近年の子供・若者を取り巻く環境の変化に即した新たな課題やニーズへの対応が必要となっていることから、青少年会館・体育館・運動広場管理棟の3施設について、運動広場用地へ移転・集約建替えを実施する方向で検討を進めることとした。令和8年度は移転・集約建替えを行う施設再編に向けた基本構想を策定する。				拡充 施設再編に係る基本構想を策定し、現代の子供・若者のニーズや課題に対応した施設整備の検討を行う。

2	所管 室課	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター主催事業				
事業概要								
青少年クリエイティブセンター運営								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、青少年クリエイティブセンターにおいて事業を実施した。 主催事業件数 (1)学習活動推進事業 令和5年度 25件 令和6年度 23件 令和7年度 24件 (2)交流推進事業 令和5年度 10件 令和6年度 9件 令和7年度 9件 (3)子育て支援事業 令和5年度 4件 令和6年度 4件 令和7年度 4件 (4)情報提供事業 令和5年度 2件 令和6年度 2件 令和7年度 2件				決算額 (千円)	10,139	11,488	14,296	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)	99.2	98.4	98.3	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				青少年の健全な育成と交流の支援を目的とし、様々な主催事業を実施しており、令和6年度からは参加者の利便性向上を図るため電子申込みを導入した。 事業内容で応募者数に大きな差が生じる傾向が続いていることから、今後は、応募者が多く、人気のある事業を引き続き実施していく一方で、今の時代に即した子供・若者の要望を反映した事業の企画・検討が必要と考えている。				継続
								主催事業の現状の見直しも行い、施設再編に併せ、時代に即した事業・機能の導入等についての検討を進める。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	青少年活動サポートプラザ事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ管理事業		
事業概要						
青少年活動サポートプラザ管理（指定管理者施設管理）						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その成長又は発展に応じた支援を目的として、子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザの施設の貸館業務及び維持管理を行った。また、利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズを把握し、事業運営に反映させた。		決算額 (千円)	99,506	101,695	98,961	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	92.8	92.8	92.8	☐ 有効性 ■ 効率性
(1) 貸室利用件数 令和5年度…13,966件、令和6年度…14,480件、 令和7年度…14,956件		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
(2) 貸室利用者数 令和5年度…129,422人、令和6年度…136,961人、 令和7年度…140,604人		利用者懇談会やアンケートの実施を通して利用者のニーズを把握し、サービスの向上に努めて利用人数の更なる増加につなげる必要がある。また、必要に応じて、設備の更新や修繕を実施した。 今後も計画的な設備の更新や修繕を実施し、市民の方が安心して安全に利用できる施設を目指す。				今後の実施計画 の方向性・内容
						継続

2	所管 室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ主催事業			
事業概要							
青少年活動サポートプラザ運営							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 青少年交流活動支援事業 青少年の自立や社会参画を促すことを目的とした居場所づくりや 青少年の自主的な活動の支援、学習室や交流ロビーの運営、各種イ ベントの企画運営を行った。 【青少年交流活動支援におけるイベント参加者数】 令和5年度…12,506人、令和6年度…10,811人、 令和7年度…13,933人 【学習室の提供】 令和5年度…24,813人、令和6年度…25,910人、 令和7年度…22,995人 (2) 青少年委員会の開催 青少年活動サポートプラザにおいて、青少年の立場でより良い施 設とするための意見を聴取し、イベントの企画・運営など幅広い活 動を実施した。(延べ人数) 令和5年度…61人、令和6年度…46人、令和7年度…45人 (3) 3施設連携イベント 夢つながり未来館の3施設(青少年活動サポートプラザ、のびの び子育てプラザ、山田駅前図書館)が連携し、夏まつり、リサイク ルフェア、お正月あそび及び夢つながり未来館開館15周年記念イ ベントを開催した。			決算額 (千円)	7,262	9,291	9,949	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.6	99.6	99.6	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			青少年自らが企画運営するイベントを 実施することで、自主性や社会性を育む など青少年の成長を図った。安心して学 べる場としては、多くの青少年が学習室 を利用した。 また、関係室課と連携し、福祉の仕事 の魅力を知ってもらうためのイベントの 実施等、社会課題について考えるきっか けとなる事業の実施や青少年の声を反映 させた取組等を行った。 今後も青少年が体験や交流を通して成 長できるよう、更に魅力的な事業を展開 し、参加者数の増加につなげる必要があ る。			継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	青少年活動サポートプラザ事業	所管部局	地域教育部

3	所管 室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ相談事業		
事業概要						
青少年活動サポートプラザ相談						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
子ども・若者育成支援推進法に基づく子ども・若者総合相談センター（ぷらっとるーむ吹田）として、相談を実施している。 （1）新規相談件数 令和5年度…296件、令和6年度…297件、令和7年度…298件 （2）社会参画につながったケース 令和5年度…90件、令和6年度…89件、令和7年度…115件 （3）他機関協議の実施回数 令和5年度…1,129回、令和6年度…1,367回、令和7年度…1,299回 （4）アウトリーチ（訪問支援）の実施回数 令和5年度…367回、令和6年度…365回、令和7年度…332回 子ども・若者総合相談センターでは、社会生活を円滑に営む上での困難を有する青少年（39歳まで）及びその家族に対し、相談員が子ども・若者支援地域協議会を活用し、関係機関と連携しながら面談やアウトリーチ（訪問支援）等を行い、自立に向けた支援を行った。 また、支援が必要でありながら、適切な支援につながらない複合的課題を有する青少年に対し、早期に支援につなげるため、学校や関係機関との連携の強化に努めた。		決算額 （千円）	36,101	42,237	48,353	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（％）	55.1	63.0	65.8	■ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		不登校、ひきこもり、高校中退などの 青少年の相談が多く、これらが複雑化・ 複合化した相談が増加しており、自立に 向け、関係機関と連携してチームでの支 援を行っている。学齢期の支援機関はそ ろっているが、中学校卒業後は支援機関 の数が減り、支援が届きにくくなる。			今後の実施計画 の方向性・内容	
		年齢や制度で支援が途切れないように 切れ目のない包括的な支援が求められて いることから、情報が途切れやすい高校 や大学も含め、関係機関との更なる連携 を強化する必要がある。			継続	

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	地域・青少年教育事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	まなびの支援課	事業名	こども110番見まもり活動支援事業			
事業概要							
こども110番見まもり活動支援							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
「こども110番の家」運動推進団体に旗やプレート、通学路の見守りボランティアの活動に必要な物品を支給するとともに、「こども110番の家」での万一の事故等に備え、災害見舞金制度（災害等保障費用保険）への加入を継続している。 ・「こども110番の家」支給物品 旗 令和5年度・・・2,229本 令和6年度・・・1,208本 令和7年度・・・1,371本 プレート 令和5年度・・・830枚 令和6年度・・・415枚 令和7年度・・・720枚 ・見守り活動用消耗品を支給した小学校区数 （在庫等の関係で消耗品支給を希望しない小学校区あり） 令和5年度・・・25校区 令和6年度・・・31校区 令和7年度・・・28校区			決算額 （千円）	1,103	811	949	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			運動推進団体等の支援として団体等の 求めに応じ物品を支給・更新している。 物品単価の上昇に伴い支給数が減少す るなど、事業継続における課題はある が、子供の安全確保及び団体等の活動の 継続と充実を図るため、府からの支給物 品を有効活用するなど、今後も必要な物 品の支給をすることで支援をしていく。			今後の実施計画 の方向性・内容	
			継続				

2	所管 室課	青少年室	事業名	青少年育成事業			
事業概要							
青少年指導員活動、二十歳を祝う式典、こども会スポーツ大会、青少年さつき音楽祭、子供劇場、ヤングフェスティバル、さわやか元 気キャンプ							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援し、豊かな人間性と社会 性を育むことを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら 様々な事業を実施した。 【主な活動実績】 （１）さわやか元気キャンプ 不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年を対象に、自然体験 活動を通じて生きる力を育むキャンプを年５回実施した。 ・参加人数 令和５年度…97人 令和６年度…123人 令和７年度…105人 （２）二十歳を祝う式典 二十歳となる成人を祝い励まし、社会人としての自覚を促すため、 「二十歳を祝う式典」を市立吹田サッカースタジアムで開催した。 ・参加人数 対象人数（11/1時点） 参加率 令和５年度…約2,800人 3,858人 73% 令和６年度…約3,000人 4,119人 73% 令和７年度…約2,900人 3,856人 75%			決算額 （千円）	23,018	23,025	24,167	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	98.6	98.6	98.8	□ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			□ 公平性 □ 持続可能性	
			民法改正に伴い、令和４年度から「成 人祭」を「二十歳を祝う式典」に名称変 更した。会場は、令和２年度以降、市立 吹田サッカースタジアムで開催してい る。 スピーカーの増設や親族席の増設、送 迎車及びシャトルバスルートの変更等、 様々な改善に取り組んできたが、雨天時 の対策が大きな課題である。 円滑に式典を開催できるよう引き続き 取り組む。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
						二十歳を祝う式典実 行委員会の開催時期を 早めるとともに、回数 を多くすることで、よ り当事者の意見を反映 した式典とする。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	地域・青少年教育事業	所管部局	地域教育部

3	所管 室課	青少年室	事業名	青少年指導事業			
事業概要							
吹田市・若狭町リーダー交歓会、スカウトリーダー養成、青少年指導者講習会、地区青少年健全育成事業補助金の交付、青少年健全育成保険加入、非行防止・環境整備、青少年問題協議会等							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
青少年を地域で見守るとともに、青少年指導者を養成することを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施した。 【主な活動実績】 (1) 地区青少年健全育成事業補助金の交付 地区青少年対策委員会が実施する青少年健全育成事業に対し、補助金を交付した。 ・補助金交付額 令和5年度…14,672千円 令和6年度…14,876千円 令和7年度…14,953千円 (2) 青少年指導者講習会 青少年に関わる指導者を対象に、「闇バイト」「発達症を知ろう」「安心なインターネットSNS利活用」等など、青少年育成に関する様々なテーマで講習会を実施した。 ・参加者数 令和5年度…161人 令和6年度…294人 令和7年度…243人 ・開催回数 令和5年度…6回 令和6年度…7回 令和7年度…7回			決算額 (千円)	16,195	16,463	16,327	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			「青少年指導者講習会」は、より多くの方が参加できるよう開催日時の変更やオンライン受講、アーカイブ配信等、多様な受講方法を取り入れながら、参加者数増に向け取り組んでいく必要がある。 「吹田市・若狭町リーダー交歓会」は、子供会リーダーの育成を目指し、1970年の大阪万博から開始したが、現在では、子供会の組織率が低下するなど、開催当時から大きく社会環境が変わり、一定の役割を終えたため令和7年度の開催をもって廃止した。				
			継続				

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
							今後の実施計画 の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名